

「いきいきとコミュニケーションを図り、 課題を解決しようとする児童の育成」

～ CLILを通して世界とつながる力を育てる教育課程の開発～



令和5年1月18日(水)
東京都東村山市立久米川東小学校

発表内容

- 1 研究の概要
- 2 実践成果(低学年・中学年・高学年)
- 3 研究のまとめ

2

1 研究の概要

これから求められる力

児童が直面する課題を主体的に捉え、その課題解決に向け、他者との協働活動を通して、自ら考え行動する力を育成することが大切である。



児童が、多様な価値観をもつ他者と豊かなコミュニケーションを通して共に思考し、協力・協働しながら課題解決を図る課程において、新たな価値に気付いたり、生み出すことができるよう授業改善に取り組むことが必要である。

1 研究の概要

研究主題

いきいきとコミュニケーションを図り、
課題を解決しようとする児童の育成

～ CLILを通して世界とつながる力を育てる教育課程の開発～

新教科 「eタイム」の創設

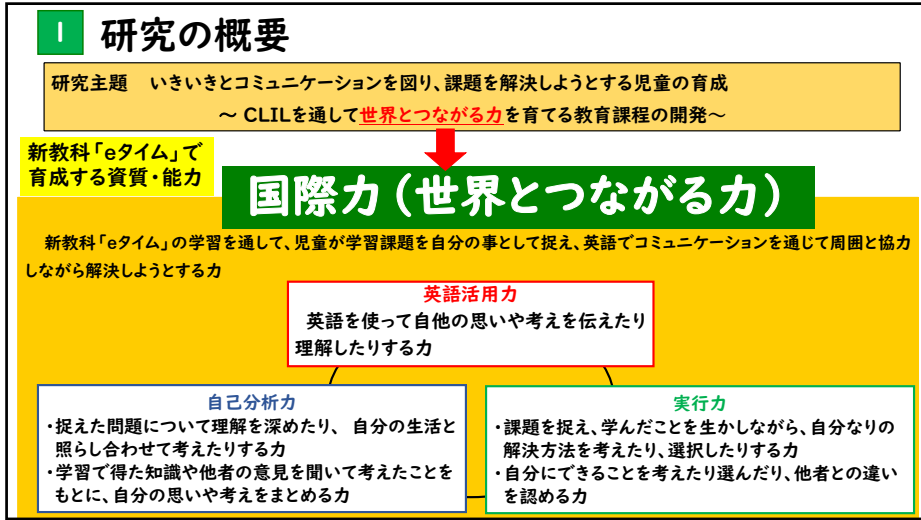
もっと
表現したい!

もっと
考えたい!

もっと
知りたい!

もっと自分や
相手のよさを
生かし合いたい!



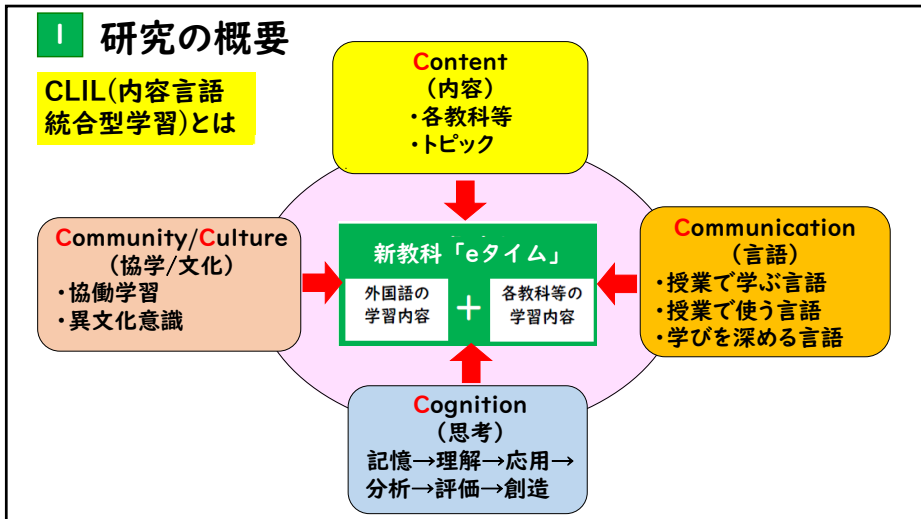
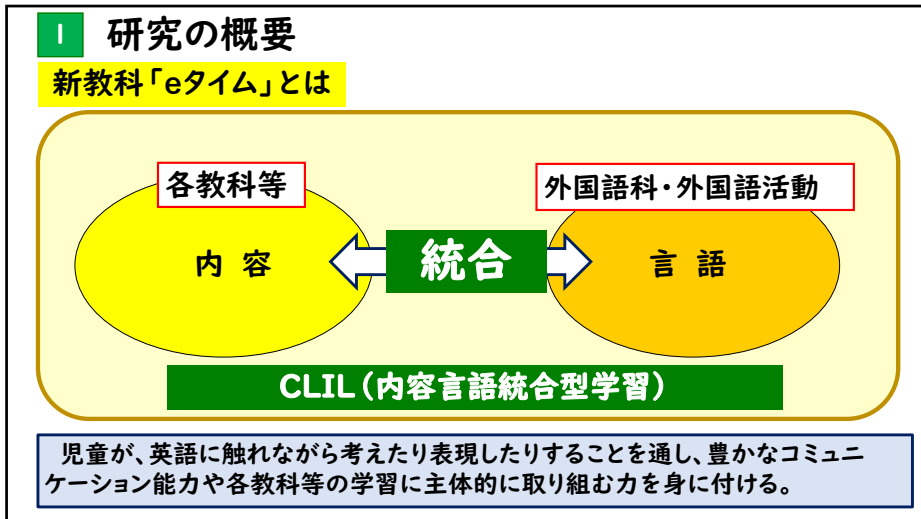


1 研究の概要

新教科「eタイム」で育成する資質・能力

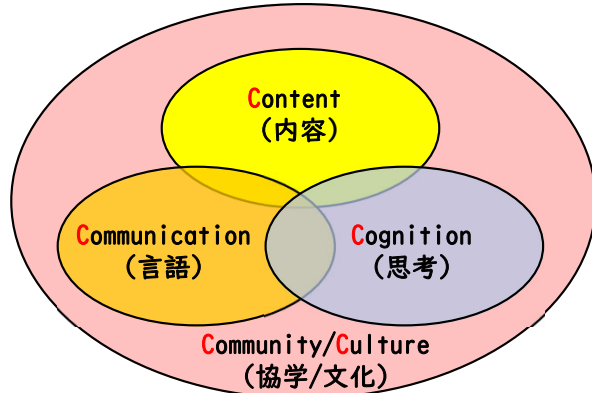
国際力を育む資質・能力	英語活用能力 (英語を使って自分の思いや考えを伝えたり理解したりする力)	自己分析力 (捉えた問題について理解を深めたり、自分にとって身近なことと照らし合わせて考えたりし、問題から課題を見いだす力)	実行力 (学んだことを生かしながら、自分なりの解決方法を考えたり、選択したりする力)
現行の学習指導要領で育成すべき資質・能力	学習の言語(取り上げるテーマやトピックの理解に直結する言語材料)や学習のための言語(英語で何かを学ぶ際の必要な表現や学習スキル)を聞いたり言ったりすることができるようにする。	学習問題を既存の知識や自己の経験と照らし合わせたり、結び付けたりしながら、整理し捉えることができるようにする。	他者と協働的に取り組み、異なる意見を生かしながら、新たな知識や技能を見いだすことができるようにする。
知識及び技能			

新教科「eタイム」における資質・能力と現行の学習指導要領で育成すべき資質・能力との関連表より一部抜粋



1 研究の概要

CLIL(内容言語統合型学習)の4つのCの関わり(例)



1 研究の概要

新教科「eタイム」
における単元づくり

①内容の構築

②言語材料の精選

③単元の構成

第5学年「水の大切さを考えよう」

水問題



How much water do you use a day?

I use ○○ liters.

第4学年
社会科
「水のゆくえ」

第5学年
社会科
「世界の中の国土」

第5学年
総合的な学習の時間
「米から見えるもの」

発表内容

1 研究の概要

2 実践成果(低学年・中学年・高学年)

3 研究のまとめ

11

2 実践成果(低学年)

第2学年「How about you?」
～お気に入りの場面を紹介しよう～



2 実践成果 (低学年)

第2学年「How about you?」
～お気に入りの場面を紹介しよう～

単元の展開

第一次

- ・スイミーのお気に入りの場面を選び、その場面を選んだ理由を考える。
- ・紹介する時の表現を話し合い、表現に慣れ親しむ。



How about you?
2年1組

①あなたのお気に入りのぼめんはどれですか。

1 2 ③ 4 5

②そのぼめんをえらんだりゆうを置きましよう。

日本こ < くらげ > が < かわいい > から。
えいこ < jelly fish > は < pretty > 。

③タブレットをつかって、えいごをしらべられましたか。
(できた) ・ まあできた ・ あまりできなかった ・ できなかった

2 実践成果 (低学年)

第2学年「How about you?」
～お気に入りの場面を紹介しよう～

単元の展開

第二次

- ・自分が紹介する際の表現を確認し、協働学習の中で紹介の練習を行う。

I like the ~
scene.
Because ~.

What scene do you like?



Good!
Me too.

2 実践成果 (低学年)

第2学年「How about you?」
～お気に入りの場面をしようかいしよう～

単元の展開

第三次

- ・スイミーのお気に入りの場面やその理由を紹介し合い、学習を振り返る。



2 実践成果 (低学年)

第2学年「How about you?」
～お気に入りの場面をしようかいしよう～

学習の振り返り

国際力 (世界とつながる力)

英語活用力

お気に入りの場面の理由が伝わるように英語で話したり、友達と教え合いながら、英語で理解したりすることができた。

相手との違いを受け入れ よさを認め合う

自己分析力

紹介したい場面が同じでも、選んだ理由が違って
いたことが分かり、みんなの考えを聞くことができ
て楽しかった。

実行力

自分の考えのよいところを友達がたくさん伝えてく
れてうれしかった。これからも色々な人の意見を聞く
ことを大切にしていきたい。

2 実践成果 (中学年)

第4学年「Mottainai saves the Earth.」 ～もったいないは地球を救う～



2 実践成果 (中学年)

第4学年「Mottainai saves the Earth.」
～もったいないは地球を救う～

単元の展開

第一次

- ・Reuse・Recycle・Reduce・Refuseできるものについて考え、表現に慣れ親しむ。
- ・学習課題を自分にとって身近なことと照らし合わせて考える。

第二次

- ・自分の大切にしたい4Rについて考え、学級の友達と意見交流し、互いのよさや違いについて理解を深める。

第三次

- ・自分の大切にしたい4Rについて、他県の児童と発表し合い、相手の考えのよさを生かしながら、自己の考えを深める。

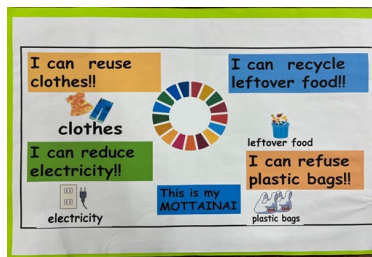
3 実践成果 (中学年)

第4学年「Mottainai saves the Earth.」
～もったいないは地球を救う～

単元の展開

第二次

- ・自分の大切にしたい4Rについて考え、学級の友達と意見交流し、互いのよさや違いについて理解を深める。



What can you do for the earth?

I can recycle plastic bags.
I can reuse clothes.
I can reduce water.
I can refuse over packing.



Good idea.

3 実践成果 (中学年)

第4学年「Mottainai saves the Earth.」
～もったいないは地球を救う～

単元の展開

第三次

- ・自分の大切にしたい4Rについて、他県の児童と発表し合い、相手の考えのよさを生かしながら、自己の考えを深める。



同じものを選んでいても、リサイクルではなく、リデュースしようとするのは、自分では思いつかなかった考えでした。

学級で発表した時よりも、自分では思いつかなかった考えがたくさんあって、楽しかったです。相手に伝わるように意識して発表しました。

3 実践成果 (中学年)

第4学年「Mottainai saves the Earth.」
～もったいないは地球を救う～

学習の振り返り

国際力 (世界とつながる力)

英語活用力

お気に入りの場面の理由が伝わるように英語で話したり、友達と教え合いながら、英語で理解したりすることができた。

多様な他者の文化や価値観について理解し、自己の考えに生かす

自己分析力

もったいないを減らすためにできることを考える時、知っていることを行うのではなく、今、行っていることや習ったことを生かして、考えた。

実行力

たくさんの「もったいない」を自分なりに考えたことで、ただ使うものを減らすだけではなく、様々なものを工夫して使っていこうと思う。

2 実践成果 (高学年)

第6学年「Heal The World」 ～地球を幸せにしよう～



2 実践成果 (高学年)

第6学年「Heal The World」
～地球を幸せにしよう～

単元の展開

第一次

・地球環境に関する問題について理解し、それらを解決するための語彙や表現について身に付けることができる。

第二次

・地球環境を守るために自分ができていることをオリジナルエコラベリングに表し、その思いを英語で表現する。

第三次

・オリジナルエコラベルに込めた思いや考えを英語で伝え合い、学習したことを、どのように生かしていくことが大切なのかを考える。

4 実践報告 (高学年)

第6学年「Heal The World」
～地球を幸せにしよう～

単元の展開

第一次

地球環境に関する問題について理解し、それらを解決するための語彙や表現について身に付けることができる。

日本では、1日あたり1人1kgもごみを出しているなんてはじめて知りました。

色々なもののリサイクルを行っている企業もあり、自分にも何が出来るのかを考えたいくなりました。



4 実践成果 (高学年)

第6学年「Heal The World」
～地球を幸せにしよう～

単元の展開

第二次

地球環境を守るために自分ができることをオリジナルエコラベリングに表し、その思いを英語で表現する。



4 実践成果 (高学年)

第6学年「Heal The World」
～地球を幸せにしよう～

単元の展開

第二次

地球環境を守るために自分ができることをオリジナルエコラベリングに表し、その思いを英語で表現する。



4 実践報告 (高学年)

第6学年「Heal The World」
～地球を幸せにしよう～

単元の展開

第三次

オリジナルエコラベルに込めた思いや考えを英語で伝え合い、学習したことを、どのように生かしていくことが大切なのかを考える。



4 実践成果 (高学年)

第6学年「Heal The World」
～地球を幸せにしよう～

学習の振り返り

国際力 (世界とつながる力)

英語活用力

友達と英語でやり取りをした時に、相手に尋ねられたことについて、とっさに考え、答えることができたので、英語で聞いたり話したりすることに自信がついた。

深い学びを促す創造的思考と
豊かなコミュニケーション能力の育成

自己分析力

地球環境を守るために、自分にできることを考えた時、誰のために行うのかを考えることで、自分にできることが変わることがわかりました。

実行力

自分の日常生活と世界がつながっていることを実感しながら学習できたので、ワクワクしながら、自分にできることを考えることができた。

発表内容

1 研究の概要

2 実践成果(低学年・中学年・高学年)

3 研究のまとめ

29

3 研究のまとめ(国際力を育む三つの資質・能力の変容)

英語活用力

英語を話したり聞いたりすることができる。



【分析】

- ・令和4年度は、令和3年度と比較し、肯定的な回答の割合は2.8ポイント増加。
- ・外国語の音声や基本的な表現に慣れ親しんだり、実際のコミュニケーションにおいて活用したりできる英語力の育成を図ることができた。

3 研究のまとめ(国際力を育む三つの資質・能力の変容)

自己分析力

自分や相手の意見の似ているところや違うところ分かる。



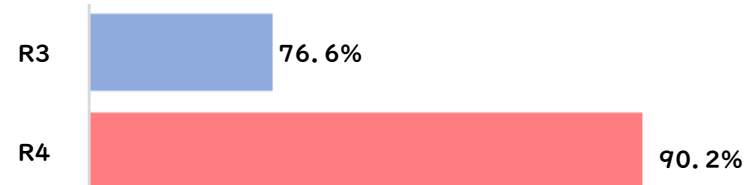
【分析】

- ・令和4年度は、令和3年度と比較し、肯定的な回答の割合は3.9ポイント増加。
- ・学習内容を既習や自身の経験と照らし合わせたり、結び付けたりしながら、理解した上で自己の考えを形成する力の育成を図ることができた。

3 研究のまとめ(国際力を育む三つの資質・能力の変容)

実行力

学んだことをこれからの生活に生かそうとする。



【分析】

- ・令和4年度は、令和3年度と比較し、肯定的な回答の割合は13.6ポイント増加。
- ・児童が学習課題を自分との関わりで捉え、課題解決に向けてできることを自分なりに見だし、解決方法を考えたり、選択したりする力の育成を図ることができた。

5 研究のまとめ(成果)

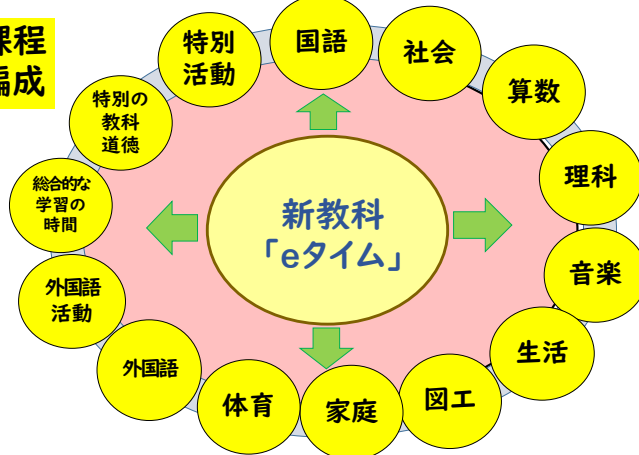
- ・課題解決に向けて、教科横断的な思考を働かせたり、真に「考えたい」「行動したい」という自分の思いや考えを英語で伝え合ったりすることができるようになった。
- ・英語における「聞くこと・話すこと・読むこと・書くこと」に関する学習をバランスよく行うことができた。
- ・既習の語彙や表現に慣れ親しんだり、内容の定着を図ったりすることができた。
- ・互いの文化や価値観について理解することや自分たちの学校や地域等のよさを見つめ直すことにつながった。

5 研究のまとめ(課題)

- ・児童が英語を活用することで、得られる達成感や成就感を身に付けさせるための工夫が必要である。
- ・児童が学びたい内容から選定した表現を目的・場面・状況と結び付けながら獲得できるコミュニケーションの場面を適切に設定する必要がある。
- ・統合を図った各教科等における見方・考え方を働かせながら行った探究的な学びが、各教科等の場面において、どのように生かされているのかを検証する必要がある。

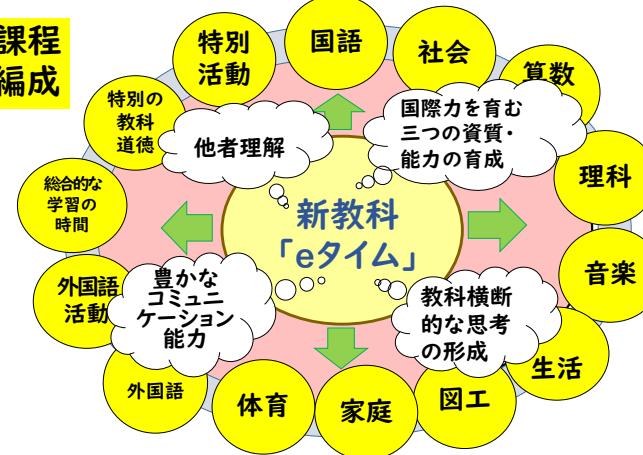
3 研究のまとめ(今後の展望)

教育課程の再編成



3 研究のまとめ(今後の展望)

教育課程の再編成



ご清聴ありがとうございました

